

問1 私たちは、必要なものをすべて自分で作る「自給自足」の生活ではなく、他者が生産した物やサービスと自分の持つものをやり取りすることで生活しています。このような交換を円滑に行うために貨幣が担っている、商品の価値を共通の物差しとして数値化する役割を何といいますか。

(2023年 兵庫県公立入試 類似)

1. 支払いの手段
2. 価値の尺度
3. 価値の保存
4. 流通の強制

問2 一般的な銀行の仕組みにおいて、家計から預かった資金（預金）を企業などに貸し出す際、銀行はどのようにして自らの利益を得ているか、最も適切な説明を選びなさい。

(2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 利子による収益は一切得ず、銀行の窓口やATMを利用する際の手数料のみをすべての利益とする。
2. 預金者に支払う利子と、企業などに貸し付ける際の利子を同等に設定し、政府からの補助金を利益とする。
3. 預金者に支払う利子を、企業などに貸し付ける際の利子よりも高く設定し、預金残高を増やすことで利益とする。
4. 預金者に支払う利子よりも、企業などに貸し付ける際の利子を高く設定し、その差額を利益とする。

問3 景気の過熱や物価の上昇を抑えるために日本銀行が行う「公開市場操作」において、保有する国債などを一般の金融機関に売却し、市場に流通する通貨量を減少させる操作を何といいますか。

(2026年 栃木県公立入試 類似)

1. 預金準備率操作
2. 売りオペレーション
3. 公定歩合操作
4. 買いオペレーション

問4 日本銀行がインフレーションを抑制するために金利を上げる「金融引き締め」を行った場合、その影響として予測される社会の動きについて述べたものとして正しいものはどれですか。

(2024年 北海道公立入試 類似)

1. 銀行の預金金利が下がるため、人々は貯蓄をせずに消費を増やすようになり、景気がさらに良くなる。
2. 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。
3. 円の価値が相対的に低くなるため、輸出企業の国際競争力が高まり、日本からの輸出額が大幅に増加する。
4. 企業の利息負担が軽くなるため、新しい工場や機械を導入する設備投資が活発になり、雇用が増加する。

問5 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し付けたり預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。

(2020年 岡山県公立入試 類似)

1. 市中銀行
2. 政府の銀行
3. 発券銀行
4. 銀行の銀行

問6 銀行などの金融機関が、家計などの預金者から集めた資金を、自らの責任で企業などの借り手に貸し出す金融の仕組みを何といいますか。

(2026年 鳥取県公立入試 類似)

1. 直接金融
2. 公開市場操作
3. 間接金融
4. 証券取引

問7 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションを抑えるため、日本銀行が行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2022年 栃木県公立入試 類似)

1. 日本銀行が民間金融機関から国債を買い取り、市場に出回る通貨の量を増やす。
2. 日本政府が所得税や法人税を増税し、公共投資を縮小させることで景気を抑制する。
3. 日本銀行が政策金利を引き下げ、企業が資金を借りやすくすることで生産を促す。
4. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。

問8 日本の金融システムにおいて、家計が銀行などの金融機関へ預け入れた預金を原資として、その金融機関が自らの判断で企業などに対して資金の貸し出しを行う仕組みを何といいますか。

(2026年 富山県公立入試 類似)

1. 財政政策
2. 直接金融
3. 公開市場操作
4. 間接金融

問9 日本銀行が「発券銀行」として日本銀行券（紙幣）の供給量を調節し、金融政策を行うことで達成しようとしている、経済上の最も重要な目的は何ですか。

(2025年 和歌山県公立入試 類似)

1. 全ての国民に対して均等に現金を配分し、所得格差を是正すること
2. 政府の財政赤字を埋めるために、無制限に貨幣を増刷すること
3. 外国との貿易を制限し、国内市場の独占を維持すること
4. 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること

問10 好景気（好況）の局面などで、社会全体の需要が供給を上回り、モノやサービスの価格が全体的に継続して上昇する現象を何といいますか。

(2020年 沖縄県公立入試 類似)

1. デフレーション
2. スタグフレーション
3. 円高
4. インフレーション

問11 日本銀行は、わが国で唯一の「中央銀行」として、国内で流通する紙幣（日本銀行券）を発行する権限を持っています。このような役割を指す名称として適切なものはどれですか。

(2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 発券銀行
2. 政府の銀行
3. 市中銀行
4. 銀行の銀行

問12 家計などの預金者から集めた資金を、銀行などの金融機関が自らの判断で企業などに貸し出すことで、企業が事業に必要な資金を調達する仕組みを何といいますか。

(2018年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 株式公開
2. クラウドファンディング
3. 直接金融
4. 間接金融

問13 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由として、その具体的な業務の説明として適切なものを選んでください。

(2023年 奈良県公立入試 類似)

1. 民間銀行が経営難に陥った際、その銀行の株主となって経営を完全に代行するため
2. 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため
3. 国内のすべての銀行の支店配置や営業時間を決定する権限を持っているため
4. 銀行の窓口で市民が預け入れた預金の全額を、日本銀行が常に保管しているため

問14 日本銀行が「買いオペレーション」を実施し、金融機関が保有する通貨量を増やした際、その後期待される経済の仕組みと効果について述べたものとして正しいものはどれですか。

(2015年 長崎県公立入試 類似)

1. 金利が上がり、人々の預金意欲が高まることで、物価の上昇が抑えられる
2. 銀行の貸し出しが制限されることで、企業の倒産を防ぎ、通貨の安定が図られる
3. 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる
4. 通貨の価値が上がることで、輸入品の価格が安くなり、国民の消費が抑制される

答え合わせ・解説

問1	答え 2 価値の尺度	貨幣には主に、交換を仲立ちする「交換の媒介」、モノの価値を測る物差しとなる「価値の尺度」、富を蓄える「価値の保存」といった役割があります。自給自足ではない社会において、肉と野菜のように性質が異なる商品を円滑に交換するためには、それらを「価格」という共通の単位で比較できるようにすることが不可欠です。
問2	答え 4 預金者に支払う利子よりも、企業などに貸し付ける際の利子を高く設定し、その差額を利益とする。	銀行は金融仲介機関としての役割を担っており、広く家計から集めた預金を、資金を必要とする企業などへ貸し付けています。このとき、貸し付けの際に受け取る利子を、預金者に支払う利子よりも高く設定することで、その差額が銀行の主な利益（利潤）となります。これを「利ざや」と呼び、銀行が組織を維持・運営するための重要な原動力となっています。
問3	答え 2 売りオペレーション	景気が良すぎて物価が上がりすぎるのを防ぐため、日本銀行は市場の通貨量を減らそうとします。日本銀行が国債を金融機関に売ると、その代金が民間から日本銀行に支払われるため、世の中に出回る通貨の量が減少します。この一連の流れを公開市場操作の「売りオペレーション」と呼びます。
問4	答え 2 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。	金利が上昇すると、お金を借りる際の手数料（利子）が高くなります。これにより、大きな買い物である住宅の購入を抑える人が増えたり、企業が投資を縮小したりするため、景気が冷え込む方向に働きます。これは、上がりすぎた物価（インフレーション）を落ち着かせるための意図的な動きです。金利が上がれば通常、預金金利は上昇し、通貨（円）の価値は高まる傾向にあります。
問5	答え 4 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般企業が直接預金をしたり借り入れをしたりする場所ではなく、民間の金融機関（市中銀行）を相手に取引を行うことから、「銀行の銀行」と呼ばれます。これにより、金融システム全体の安定を図る役割を担っています。
問6	答え 3 間接金融	資金の出し手（預金者）と借り手（企業など）の間に、銀行などの金融機関が仲介者として入る仕組みです。金融機関が自らの責任で資金を運用するため、借り手が返済できなくなった場合のリスクも金融機関が負うことになります。これに対し、企業が発行する株式などを投資家が直接購入する仕組みは直接金融と呼ばれます。
問7	答え 4 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。	景気が過熱している際、日本銀行は中央銀行として通貨の流通量を調整する役割を担います。日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却すると、その代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ吸い上げられます。これにより市場を流通する通貨量が減少し、銀行の貸出金利が上昇するため、企業の設備投資や個人の消費が抑えられて景気が沈静化します。この一連の操作を「売りオペレーション」と呼びます。
問8	答え 4 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に、銀行などの金融機関が介在して資金を仲介する仕組みです。家計は銀行に預金を行い、銀行はその資金をまとめて企業に融資します。貸し出し先の選定やリスク管理を金融機関が行う点が特徴です。
問9	答え 4 物価を安定させ、国民経済を健全に発展させること	日本銀行が「発券銀行」として通貨の量を管理する最大の目的は、お金の価値を一定に保つ「物価の安定」にあります。物価が急激に変動すると国民の生活や経済活動が混乱するため、景気の状態に応じて通貨の流通量を調整することで、経済の健全な成長を支えています。政府から独立した立場でこの役割を担うことで、短期的な政治判断に左右されない安定した金融運営が行われる仕組みになっています。
問10	答え 4 インフレーション	好景気のときには人々の購買意欲が高まり、商品に対する需要が供給を上回ること、物価が継続的に上昇します。この現象をカタカナでインフレーションと呼びます。これに対し、不景気の時に物価が下がり続ける現象はデフレーションと呼ばれ、区別して理解する必要があります。
問11	答え 1 発券銀行	日本銀行は、法律によって国内で唯一紙幣を発行することが認められた機関であり、この役割を「発券銀行」と呼びます。発行される紙幣は「日本銀行券」と呼ばれ、日本銀行は景気の状態に応じて通貨の流通量を調整することで、物価の安定を図る重要な責務を担っています。
問12	答え 4 間接金融	資金の出し手（家計）と借り手（企業）の間に、銀行などの金融機関が仲介役として入り、資金を融通する仕組みを指します。預金者は銀行に預け、銀行がその責任で企業へ融資を行うため、貸し手と借り手の結びつきが間接的であることからこのように呼ばれます。
問13	答え 2 市中の銀行などの金融機関に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行うため	日本銀行は私たち一般の個人や企業とは取引を行わず、民間の銀行（市中銀行）などの金融機関を相手に取引を行います。具体的には、民間銀行に対して資金を貸し出したり、民間銀行が持っている余剰資金を日本銀行の当座預金として受け入れたりします。このため、銀行のための銀行という意味で「銀行の銀行」と呼ばれます。この仕組みを利用して、景気の状態に応じて通貨の流通量を調節する金融政策が行われます。
問14	答え 3 金利が下がり、企業や個人が資金を借りやすくなることで、経済活動が活発になる	買いオペレーションによって金融機関に資金が供給されると、市場での資金供給が過剰になり、お金を借りる際の利息（金利）が低下します。金利が下がれば、企業は設備投資のための資金を借りやすくなり、個人も住宅ローンなどを組みやすくなるため、停滞していた景気を回復させる効果が期待されます。